島根県民文化祭



第59回 島根県総合美術展

日本画、書、洋画、工芸、写真、デザイン、彫刻の７部門

中央展
令和８年11月14日(土)～11月22日(日)
島根県立美術館 企画展示室およびギャラリー
開館時間／10:00～18:30（入場は18:00まで）
※最終日は10:00～15:00　11月17日(火)は休館日です。

移動展
令和８年11月27日(金)～11月30日(月)
島根県立石見美術館（グラントワ内）展示室
開館時間／9:30～18:00（入場は17:30まで）
※最終日は9:30～16:00

■主催／島根県文化団体連合会、島根県 ■共催／公益財団法人しまね文化振興財団 ■主管／島根日本画協会、島根書道会、島根洋画会、山光会、島根工芸連盟、島根写真作家協会、島根県写真家連盟、島根デザイン連盟、島根彫刻会 ■協賛／朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、日本経済新聞社松江支局、産経新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、BSS 山陰放送、エフエム山陰、公益財団法人ごうぎん文化振興財団、島根県公立文化施設協議会、しまねミュージアム協議会 ■後援／読売新聞松江支局、新日本海新聞社、中国新聞社、NHK 松江放送局、日本海テレビ、島根県ケーブルテレビ協議会

表紙デザイン：山下抄友子（第58回県展デザイン部門知事賞受賞者）

目　　次

日 本 画 …… 1

書 …… 5

洋　画 …… 11

工　芸 …… 16

写　真 …… 21

デザイン …… 27

彫　刻 …… 32

審査員一覧

【県外審査員】

工　芸　藤井　茂樹　氏（新見美術館館長）
写　真　安　珠　氏（写真家）
デザイン　野村　勝久　氏（グラフィックデザイナー・野村デザイン制作室代表・九州大学准教授）
彫　刻　藤田　英樹　氏（国画会彫刻部会員）

【県内審査員】

日 本 画　大森　幹雄、小村　俊美、東野布由美、広田あつ子、福間小夜子、三島　京子、村上ななほ、森脇　純子、吉岡　珠恵、米原ひろこ
書　伊藤　蘭峯、鎌田　敬子、齊鹿　妙子、都野守双玄、戸津川政世、秦　鶴芳、眞鍋　智浩、三代　郁子、三谷　雄喜、山﨑　銀川
洋　画　岩田　明美、江角　奈美、春日　裕次、梶谷　修弘、鹿島　昭一、勝田　敏夫、金築　秀俊、川上　浩平、神門　芳子、北本　雅己、杵築　伸、木下　幸子、藏敷　真弓、近藤　隆、佐藤　收男、渋谷　慎治、島田　史、水津　保美、田中　敬二、寺井　壽一、豊島美智恵、樋野　梢、福田　佳史、二岡みえこ、持田　隆志、森山　恭、山岡　晴夫
工　芸　荒尾　浩之、石村　稔、犬山　卓也、内田　和秀、藤間　寛、長岡住右衛門空郷、濱田　幸介、正木　潤、松浦　弘美、松本三千子、渡部　良和
写　真　岩谷　順子、大坂　武、岡田　文夫、尾﨑　美智、川本　貢功、酒井　重礼、品川　功、田中　利博、田村　唯男、常松　利理、仲佐　勝己、松谷　敏秀、三浦　秋男、三加茂幸子
デザイン　秋國　紋子、石野　眞、内田　京子、遠藤　毅、奥　美奈子、小原　恭子、梶　明広、春日　謙一、近藤　隆、品川　良樹、玉木喜久代、平江　透、柳楽　武臣、錦織　秀行、野々内政美、原　真人、山川　房子、代高田由梨
彫　刻　伊藤　眞美、近田　裕喜、立花　航、田中　俊晞、松本　健志

日本画

応募点数	29点	招待作品	11点
入賞点数	7点	展示点数	40点
入選点数	22点	㊊は移動展出品作品	

（総　評）　今年は出品数は前年並という結果となりました。賞を決定するのにあたり、何度も何度も投票を行い、全員の納得のいくように話し合いを重ねて結果に至っています。会員賞においては、さすがに皆さん経験を重ねた方々の出品であり、技術的にも優れており、今回は２作品が同点決戦の為、両方を会員賞としました。人物と風景。どちらも空気感がうまく表現されており、日本画絵の具の使い方に工夫されている作品を見ることが出来ました。

知事賞に関しては、技巧も、色彩も独自の発想から描かれたものです。緻密な描き方と色の配色に新しさを感じられます。金賞以下も、場面の切り取り方や配色に型にはまらない自由な取り組みに好感が持てます。入賞を逃した作品もそれぞれ同じように自分らしさの中に創意、工夫を感じることが出来、次の作品に期待致します。

日本画はよく水墨画とまちがわれることが多く、一応わかり易く答える時には、和紙に日本画の画材で描きますと答えます。掛け軸のように、絹に描いたものも日本画ですが、この県展の作品は、ベニヤパネルに、和紙、日本画絵の具です。日本画絵の具以外のものを使用することもあります。今は昔よりかなり自由に描くことが出来、今後、もっと、もっと自由な発想で、新しい感覚の作品が出品されることを期待しています。

展覧会を通じて、出品した方々も刺激を受け、観覧いただいた方々には、これが日本画という感覚を知っていただければ幸いです。

（文責　東野布由美）

知事賞　㊊　命主（いのちのぬし）

錦織典子（にしこりのりこ）（松江市）

芽吹き始めた草々と幽玄的な余白を配し、古木をピックアップした画面構成で存在感のある作品です。

作者の持つ色彩感覚と繊細な色彩分けで色彩豊かに古木の生命力を描き出しています。

構図のバランス感覚と豊かな色彩感覚が発揮された快作です。

（文責　福間小夜子）

金賞 ㊐ 風の記憶

青木 佳寿枝（出雲市）

色幅を抑えた色調が心地良く、共感を誘う作品です。石壁の質感の表現に優れ、重厚感と歴史の重みまでも感じられます。また中央に人物を配することで、建物の大きさが伺え、吹き抜けの様子に異国観を感じます。そして、その人物も風を感じながら佇む姿が、とても情緒的に描かれています。

これからも優れた画力を活かして新しい世界観に挑まれることを期待しています。

（文責　吉岡　珠恵）

銀賞 ㊐ 私の夏作

有田 秀子（出雲市）

作者は、ご自分で畑で栽培される野菜を、いつも、作品として登場させる方です。種を撒き、芽が出る、花が咲き、実を付けるのです。私は、どんな野菜ができるのか、わからないのですが、夏の暑さのもと、汗をふきながら、優しくお世話をされる笑顔が、みえるようです。肉厚な葉の緑、乾いたわらの色、黒い土、明確な色の配置に、すがすがしさ、生命力を感じとりました。これからも、生き生きとした作品を期待します。

（文責　村上ななほ）

銀賞 ㊐ 神在月

井上 智子（松江市）

「神在月」になり出雲を観光される旅行者もずいぶん増えてきました。

作者の地元の神社にも参拝者があるのか、秋祭りにむけてのしつらえなのか手水舎に沢山の花が浮かべてあり、作者のねらいと題名がピタリと一致している上、一つ一つの花が丁寧に描かれています。下半分の省略空間の取り方もこの作品を引立てて視点がしっかりしている秀作だと思います。

欲を言えば花の強弱があればさらに良い作品になると思います。

（文責　小村　俊美）

銅賞 ㊐ 葉牡丹

鹿田 純子（松江市）

冬の迫る畑の一隅にみつけた風景を真中に切り取り、丹念な写生をもとに制作された心に沁みる絵に仕上がっています。

葉牡丹は画面中央に行儀よく並び、バックは雑草をデザイン化した草の表現に、作者の努力のあとが伺えます。これからも更に題材を求められ素晴らしい絵をみせて頂けることを楽しみにしています。

（文責　大森　幹雄）

銅賞 ㊐ 出船前（しゅっせんまえ） 北脇豊史（きたわきとよし）（出雲市）

明暗の階調の幅が豊かで正確。作者のイメージがひとめで伝わってきます。水面と、背後の闇との境のあたりをよく観察すると、更に、闇の深さが伝わります。

人物・舟・鳥の写生は、まだ不十分。水面や炎の描写も観念的。

魅力的なテーマなので、構図の検討も含め、是非、再挑戦していただきたいです。

（文責　三島　京子）

銅賞 ㊐ 吽形（うんぎょう） 引野春雄（ひきのはるお）（出雲市）

正面やや斜めから狛犬を捉え、非常にダイナミックで、内に力を秘めたポーズを力強く描かれています。右側の神社の木造の壁を配し、左奥に深い緑を置くことで、静けさと温度の高い空気感が表現されています。

作者の誠実な制作姿勢が感じられる力作です。左奥の背景を一段明暗を落とすことで狛犬の存在感がより出せるように思いました。

（文責　広田あつ子）

入選

	題名	氏名	備考
㊐	杉叢林	清原茂治（松江市）	会員・日本画協会会員賞
	宙	井上櫻子（松江市）	会員
	陽気な花弁	佐藤さゆみ（出雲市）	会員
	葉見ず花見ず	原　邦子（出雲市）	会員
	秋日和	黒田育子（出雲市）	会員
	神宮の庭	福間美智子（出雲市）	会員
	赤いジュウタン	松下純子（出雲市）	会員
㊐	明日へ	稲村正志（出雲市）	会員・日本画協会会員賞
㊐	星あかりの詩	児玉美智子（益田市）	会員
㊐	いままでとこれから	渡　麻矢（大田市）	会員
	望	村上純子（松江市）	
	静寂	和田　茂（出雲市）	日本画協会新人賞
	近道	本常千恵子（松江市）	
	生の証し	中林由加理（出雲市）	
	夏のひと日	目黒誠津子（奥出雲町）	
	彩風	宇田川京子（奥出雲町）	
	初夏	恩田ゆき子（奥出雲町）	
	悲しい思い出	恩田治美（奥出雲町）	
㊐	杜の神気	古森和代（浜田市）	
	戯れ	千原優子（奥出雲町）	
	游	三浦　泉（松江市）	日本画協会賞
	時影	片石栄子（雲南市）	日本画協会奨励賞

招　待

	題　　名	氏　　名	備　　考
	秋霖	吉　岡　珠　恵（松江市）	
㊊	融雪霧の朝	小　村　俊　美（出雲市）	
	トキ舞う	大　森　幹　雄（出雲市）	
	花の時	東　野　布由美（出雲市）	
	春茜の海辺	福　間　小夜子（出雲市）	
㊊	アドリアの記憶	森　脇　純　子（出雲市）	
㊊	女	三　島　京　子（松江市）	
	冬陽	村　上　ななほ（松江市）	
	しじま	広　田　あつ子（安来市）	
	富貴花	安　部　富　男（松江市）	
	登り窯	米　原　ひろこ（出雲市）	

書

応募点数	116点	招待作品	20点
入賞点数	7点	展示点数	136点
入選点数	109点	㊐は移動展出品作品	

（総　評）

宍道湖の美しい景観を背景にたたずむ島根県立美術館。その恵まれた環境のもと、第59回島根県総合美術展が開催された。書道がユネスコ無形文化遺産への登録を目指して推薦されるなど、書の文化的価値が改めて注目される中、本展は書の魅力と可能性を広く発信する機会となった。

書の部には総数136点の作品が寄せられた。伝統的な漢字、かな、篆刻に加え、様々な表現を試みた近代詩文書、大字書、前衛書、高校生及び大学生の作品、15歳から90歳まで多彩な分野から意欲的な作品が出品された。

それぞれの作品には、長年培われた確かな技術と表現への探求心が感じられ、伝統を大切にした表現から現代的な感性を生かした作品まで、書の幅広い魅力が示されている。また、高校生の作品からは若い世代ならではの新鮮な感性と可能性が感じられ、今後の成長が期待される。

今後も古典に学び、個性豊かな表現を追求しながら、島根の書芸術がさらに発展していくことが楽しみである。

（文責　山﨑　銀川）

知事賞 ㊐

天来先生碑銘（てんらいせんせいひめい）

塩月（しおつき）　智香子（ちかこ）（浜田市）

法帖の特徴がよく捉えられ、強くて切れのある筆線とテンポよく書かれた文字の造形が余白を掴み、非常に美しく洗練された快作である。多字数でありながら、窮屈さがなく幅としてよく収まり、表具の効果が大である。

（文責　戸津川政世）

金　賞 ㊐

流（りゅう）

喜代吉（きよよし）　博美（ひろみ）（浜田市）

ダイナミックな筆致の黒は紙面をとらえて深く、洗練された細線と飛沫と見事に調和して美しく格調高い作品である。渦巻く流れのようにも、キラキラと輝く水面のようにも見えて心が惹き込まれる。

（文責　眞鍋　智浩）

銀　賞　㊐　**夕ぐれは…**　　郷原華江（出雲市）

引き締まった線質で雄大さが感じられる。渇筆の線が美しく、行間の構成も巧く出来ている。

（文責　齊鹿　妙子）

銀　賞　㊐　**創**　　松浦桂子（大田市）

偏から旁までたっぷりと墨をふくませた大筆を巧みに操作し、最終画では筆のひねりをうまく利用し、力強く引き締めた快作である。

（文責　三代　郁子）

銅　賞　㊐　**藤井風の詞**　　古瀬玉彩（松江市）

筆にたっぷり墨を含ませ、ゆったりと書かれ、白と黒のバランスもよく考えられている。全体が暖かみのある線で構成され、見る人の心を豊かにするような佳作である。

（文責　鎌田　敬子）

銅　賞　㊐　**無事當看韻書**　　和田由実子（大田市）

筆がよく開き、墨量たっぷりの温かい線で全体的に大きく空間を取った明るい作である。

（文責　戸津川政世）

銅　賞　㊐　**魚**　　岡田健之（大田市）

構成と墨色がとても良く、素直に筆を進め、終筆での渇筆がとても調和した作品である。作者がどんな魚を想い浮かべながら書いたのだろうか。

（文責　三谷　雄喜）

入　選

	題　　名	氏　　名	備　　考
	「第１部　漢字」		
㊟	地黄湯帖	木　村　優　子（浜田市）	島根書道会特選
	秋風引	今　井　真　由（出雲市）	島根書道会特選
㊟	楽毅論	伊　藤　美　南（浜田市）	島根書道会特選
	怱恵帖	三　谷　和　子（大田市）	島根書道会特選
	呉均の詩	土　江　清　山（雲南市）	島根書道会特選
	裴将軍詩	竹　田　佑季子（浜田市）	島根書道会特選
	金陵圖	西　口　裕　香（松江市）	島根書道会秀作
	李嶠詩	工　藤　利　恵（浜田市）	島根書道会秀作
	集字聖教序	佐々木　結　花（浜田市）	島根書道会秀作
	黄葉の秋	若　槻　栄　子（雲南市）	島根書道会秀作
	風信帖	伊　藤　汀　女（大田市）	島根書道会秀作
	文徴明詩	亀　山　桂　月（雲南市）	島根書道会秀作
	薦季直表	吉　田　みのり（松江市）	島根書道会秀作
	白楽天詩	星　野　寿　邦（雲南市）	島根書道会秀作
	集王聖教序	笹　原　典　子（浜田市）	島根書道会秀作
	秋色	柿　木　和　子（雲南市）	島根書道会秀作
	風信帖	今　代　淳　子（浜田市）	島根書道会秀作
	曹全碑	伊　藤　　肇（大田市）	島根書道会入選
	随縁自在	小　川　　勉（益田市）	島根書道会入選
	枯樹賦	宮　本　綾　子（浜田市）	島根書道会入選
	蘭亭叙	田　中　美　紀（大田市）	島根書道会入選
	韋荘の詩	錦　織　清　峰（雲南市）	島根書道会入選
	李白詩	野　津　　円（隠岐の島町）	島根書道会入選
	裴将軍詩	宅　野　奈津子（益田市）	島根書道会入選
	秋風	西　川　溪　石（雲南市）	島根書道会入選
	喪乱帖	赤　名　真　紀（雲南市）	島根書道会入選
	西狭頌	浜　崎　　習（江津市）	島根書道会入選
	多宝塔碑	藤　原　百　華（雲南市）	島根書道会入選
	書譜	須　山　敏　子（雲南市）	島根書道会入選
	「第２部　かな」		
	古今和歌集	柿　永　智　哉（愛媛県）	島根書道会特選
	さをしかの	後　藤　知　郷（松江市）	島根書道会特選
	うつせみの…	景　山　雅　仙（雲南市）	島根書道会秀作
	今日はただ	庄　司　里　美（松江市）	島根書道会秀作
	風ふけば…	石　田　遥　華（出雲市）	島根書道会秀作
	天の川	畠　山　千　鶴（松江市）	島根書道会秀作
	秋風の	金　築　順　子（雲南市）	島根書道会入選
	松風の	宗　近　惺　月（江津市）	島根書道会入選

題　　名	氏　　名	備　　考
はたはたと	大　島　由　紀（大田市）	島根書道会入選
石佛	目　次　育　子（松江市）	島根書道会入選

「第３部　近代詩文」

HIKARIの詞	福　田　茜　丹（松江市）	島根書道会特選
汀子の句	長　野　芳　秀（松江市）	島根書道会特選
空穂の詩	清　水　洋　子（松江市）	島根書道会秀作
天野小石の句	杉　原　美　智（出雲市）	島根書道会秀作
啄木の歌	妹　尾　由　紀（雲南市）	島根書道会秀作
山頭火の句	石　倉　光　旭（松江市）	島根書道会秀作
雅治の詞	村　上　隆　正（出雲市）	島根書道会入選
倉田明彦の句	安　井　　薫（出雲市）	島根書道会入選
松根東洋城の句	小　笹　浩　子（松江市）	島根書道会入選
寛次郎の詩	渡　部　如　英（奥出雲町）	島根書道会入選
黄昏	北　脇　拓　磨（出雲市）	島根書道会入選

「第４部　大字書」

漸	山　内　真澄美（大田市）	島根書道会特選
蓮	谷　口　陽　子（大田市）	島根書道会特選
健	森　山　孝　子（大田市）	島根書道会特選
嗜	笠　井　康　博（大田市）	島根書道会特選
葉	黒　瀬　香緒利（大田市）	島根書道会特選
葩	山　本　実　果（大田市）	島根書道会特選
懇	山　内　富紀子（大田市）	島根書道会秀作
奏	山　本　裕　美（大田市）	島根書道会秀作
巖	山　根　京　子（大田市）	島根書道会秀作
楽	森　屋　伊津子（大田市）	島根書道会秀作
寿	平　木　美代子（大田市）	島根書道会秀作
凰	佐　藤　節　子（大田市）	島根書道会秀作
甦	三　谷　耕　司（大田市）	島根書道会秀作
勉	田　平　祐　子（大田市）	島根書道会秀作
実	釜　田　英　子（大田市）	島根書道会入選
晃	山　本　道　子（大田市）	島根書道会入選
遥	郷　原　舞衣子（大田市）	島根書道会入選
達	松　原　良　子（大田市）	島根書道会入選
渉	竹　下　良　子（大田市）	島根書道会入選
葵	宮　脇　沙　月（大田市）	島根書道会入選
凩	高　橋　かをる（大田市）	島根書道会入選
鋏	郷　原　玉　龍（大田市）	島根書道会入選
祭	岡　本　千　里（大田市）	島根書道会入選
花	竹　久　み　さ（大田市）	島根書道会入選

	題　　名	氏　　名	備　　考
	「第５部　前衛」		
㊟	踊	樋　野　不二子（浜田市）	島根書道会特選
㊟	仰	藤　下　新　葉（益田市）	島根書道会特選
㊟	アイ	井　上　範　子（浜田市）	島根書道会特選
㊟	シュン	山　根　里　美（浜田市）	島根書道会特選
	KAWA	山　崎　重　子（浜田市）	島根書道会秀作
	炎	坂　根　遥　太（江津市）	島根書道会秀作
	かん	大　草　明　美（浜田市）	島根書道会秀作
	き	佐々木　恵　子（浜田市）	島根書道会秀作
	伝	江　川　由美子（益田市）	島根書道会秀作
	りん	岡　田　恵　子（浜田市）	島根書道会秀作
	籟	山　根　奈津子（浜田市）	島根書道会秀作
	掠	左田野　　倫（浜田市）	島根書道会秀作
	ふん	前　田　典　子（浜田市）	島根書道会入選
	なみだあめ	小　林　美　恵（浜田市）	島根書道会入選
	自	三　宅　摂　美（浜田市）	島根書道会入選
	夜	佐　野　博　子（大田市）	島根書道会入選
	踊	原　納　芳　道（益田市）	島根書道会入選
	祈	石　原　真紀子（出雲市）	島根書道会入選
	再起動	西　田　洋　子（浜田市）	島根書道会入選
	「第６部　篆刻」		
	魚眼射波紅	内　田　牧　子（松江市）	島根書道会秀作
	静夜思	別　所　善　弘（松江市）	島根書道会入選
	「ニューホープ部」		
㊟	（一部）　楓橋夜泊	山　平　悠　斗（浜田市）	島根書道会ニューホープ賞
㊟	（一部）　道因法師碑	柿　永　百合香（松江市）	島根書道会ニューホープ賞
㊟	（四部）　帆	洲　浜　安佳里（大田市）	島根書道会ニューホープ賞
	（四部）　蓮	川　上　日菜子（大田市）	島根書道会ニューホープ賞
	（四部）　花	釜　田　哲　心（出雲市）	島根書道会ニューホープ賞
	（一部）　真楽	加　藤　もえな（浜田市）	島根書道会ニューホープ部特選
	（一部）　龍吟雲起	森　岡　愛　葉（浜田市）	島根書道会ニューホープ部特選
	（四部）　途	三　島　　環（大田市）	島根書道会ニューホープ部特選
	（四部）　有	岡　田　あずき（大田市）	島根書道会ニューホープ部特選
	（一部）　独楽	中　谷　美　結（浜田市）	島根書道会ニューホープ部秀作
	（四部）　翔	岡　　美沙希（大田市）	島根書道会ニューホープ部秀作
	（四部）　喜	藤　田　り　り（大田市）	島根書道会ニューホープ部秀作
	（一部）　蘭亭序	沖　本　采　子（浜田市）	島根書道会ニューホープ部奨励賞
	（四部）　結	三　谷　結　衣（大田市）	島根書道会ニューホープ部奨励賞

招　待

	題　　名	氏　　名	備　　考
㊟	高橋睦郎の句	吾　郷　純　子（出雲市）	
㊟	積徳累善	浅　野　江　涯（江津市）	
	我	飯　田　徹　山（大田市）	
	めぐりあひ	伊　藤　蘭　峯（松江市）	
㊟	秋風の	植　田　畦　水（江津市）	
㊟	慕	沖　田　天　山（江津市）	
	北原白秋のうた	鎌　田　敬　子（出雲市）	
	白埴の瓶	齊　鹿　妙　子（出雲市）	
㊟	和	都野守　双　玄（益田市）	
㊟	楓葉蘆花	戸津川　政　世（浜田市）	
㊟	げん	中　尾　弘　子（浜田市）	
㊟	桜さえ	長　浜　晴　風（出雲市）	
	道元禅師のことば	秦　　鶴　芳（松江市）	
㊟	上か下か	眞　鍋　智　浩（浜田市）	
	哉	三　代　郁　子（大田市）	
㊟	縁	三　谷　雄　喜（大田市）	
㊟	秋夜	室　下　景　雲（雲南市）	
㊟	破	山　﨑　銀　川（大田市）	
㊟	坂村真民の詩	山　本　英　雲（松江市）	
㊟	河	渡　辺　玄　海（松江市）	

洋画

応募点数	77点	招待作品	38点
入賞点数	7点	展示点数	110点
入選点数	65点	㊊は移動展出品作品	

（総　評）　デジタル技術などが進化し、あらゆる領域において表現の場や方法が変化していく中、絵画表現において、変わっていくもの、変わらないもの、１年１年その時を留めていくようなこの展覧会に、大変意義を感じています。

我々洋画部門の審査員の多くは、中央の画壇にて毎年作品を発表している現役の作家です。ですから、評論家や鑑賞者の立場ではなく、表現者の目線で作品を観ています。同じ題材で同じテーマで描くとしたら・・・などと考えながら作品の中に入っていくと、新鮮な学びや制作へのヒントを得ることができます。

今回、沢山の力作が出品されましたが、これまで以上に初出品者や学生、高校生の作品が多くなり、その画力にも感心しました。全体的に様々な個性と鮮やかな色彩に満ちた展示になりました。大作も多く、見応えのある作品群の中、特に賞候補となった作品は甲乙付け難く、受賞作の選考は難航しました。

その中で、この展覧会での発表を経て、年々力量を上げてこられた作品には感銘を受け、喜びを感じました。

また、出品にあたり、額縁が作品にマッチしていないケースが多数見受けられました。額装も作品の一部、どう観せるかという制作の仕上げだと考え、大切にしていただきたいです。

（文責　持田　隆志）

知事賞　㊊　時の華－咲く刻－　伊藤　遥

花の盛衰の様を画面いっぱいに大きく扱い、人生とオバーラップさせた構成と思われる。

副題の「咲く刻」には、今、子育てや制作に正面から向き合う作者の姿が想像され、「花笑み」と言うべき充実と優しさが溢れる画面を称賛したい。

色彩の階調の豊かさと、細部にいたる徹底した描写力が高く評価されたが、今後さらに誇張と省略を含めた精進を期待する。

（文責　北本　雅己）

金賞 ㊐ つくられた生活（せいかつ）

田中那奈（たなかなな）（松江市）

画面上部の青年の妖しい姿がまず目に飛び込み、ただならぬ気配を印象付ける。まるでドラッグの世界に耽溺しているかのような虚ろな眼差しの先にあるのは何だろう。この「つくられた生活」は、作品の中にある“ショックを与えるもの”、“予期しない驚きを与えるもの”、そして“毒の要素”が、ただならぬ魅力を醸し出している秀作である。技術的には課題もあるが、さらに自分を掘り下げ、方法や技術を超えた作品を期待したい。

（文責　田中　敬二）

銀賞 ㊐ 松江・椿谷（まつえ・つばきだに）

野津正昭（のつまさあき）（松江市）

銅版画とのことですが、単純な技法ではなく複合的なテクニックを駆使しているようです。凹版、凸版をどのように重ね合わせたのかは不明ですが、非常に緻密なタッチで木の葉の重なり、枝の広がり、水面の揺らぎが美しく表現されています。用紙の色合いも含めて独特な世界が生み出されました。

老婆心ながら額装に関しては一考されると良いかと思われます。

（文責　春日　裕次）

銀賞 ㊐ 水宙、思うがままに（すいちゅう、おも）

渡部紀代（わたなべきよ）（出雲市）

青い色が画面いっぱいに広がり、座っている男性のそばにはサメやエイが泳ぎ、人間の生活空間と海中の景色が一体化しています。「青年の表情と大きな青いフォルムは心に迫る不安に向かう心境だろうか」と、作品と対話しているような気分になります。青と緑、かすかな暖色、陰影や反射光を見事に描き分け、魚が画面に心地良い動きをつくりだしています。ずっと長く観て、一緒に水中にいたくなるような秀作です。

（文責　山岡　晴夫）

銅賞 ㊐ 夢幻（むげん）

野瀬幸音（のせゆきね）（松江市）

構成力のある、力強い作品である。色調も整い「夢幻」の作品名を生かしている。対角線上の明暗も画面を引き締めている。一つ一つの形の強弱に一工夫あればさらに良い。画面の中の主役、脇役の考え方の整理が欲しい。デッサン力もあるが、輪郭線に注意。ここまでの作品であればより繊細な心遣いが大切。額装についてであるが、ある無しにはこだわる必要はないが、私はこの作品にはあったほうが良いのではと思う。

（文責　杵築　　伸）

銅　賞　㊐　ヤン・ファン・エイクに平伏す　定守　古都乃（出雲市）

柔らかな光に包まれ、静かに身をかがめる女性の姿が印象的な作品です。大胆な人物の配置と、抑制された色彩による画面構成が秀逸です。特に、繊細に描かれた髪や肌の質感、伏せた視線と手の表情が、人物の内面に秘められた感情を感じさせます。確かな描写力に加え、静寂の中に物語性を生み出した表現力が評価されました。

（文責　金築　秀俊）

銅　賞　㊐　あとの先　伊藤　綾香（出雲市）

列車の乗客や、窓ガラス越しに見える情景をモチーフに、作者のフィルターを通して、静寂な世界を描き出している。透明感のある薄塗りの手法と、くすんだ緑と褐色の組み合わせが、穏やかで落ち着いたトーンやマチエールを生んでいる。画面下部の風を感じさせる形と、右上の光のような要素に、作者自身の心象風景に昇華させようという構成意識も感じられる。今のテーマや手法を大切に、更なる発展を期待したい。

（文責　森山　　恭）

入　選

	題　　名	氏　　名	備　　考
㊐	雨の余白	平　塚　栞　奈（益田市）	洋画部門奨励賞
㊐	骨・皮・血・肉	樋　野　真利佳（松江市）	洋画部門奨励賞
㊐	暗く霞み、咲き‥‥	立　花　　航（出雲市）	洋画部門奨励賞
㊐	ウマのリズム	白　根　　倫（雲南市）	洋画部門奨励賞
	ふるさとの山河	三　東　　茂（美郷町）	
	夢の中へ〜フライング･ゲット	村　上　かおり	
	コスモからのオリンポスEP－2	坂　井　いちえ（美郷町）	
	わたし	野　村　真　弘（松江市）	
	纏う	日　野　　睦（出雲市）	
	白と黒	矢　壁　晴太朗	
	憧れの頂きをめざして！	髙　野　陽　子	
	花ちゃん、天使になった！？	陶　山　本　子（雲南市）	
	父と見たかった最後の水郷祭	宍　戸　紀　文（松江市）	
	江戸のかをり	錦　織　　透（松江市）	
	素盞嗚尊	星　野　武　吉（松江市）	
	怪談・耳なし芳一「ばけばけ」より	石　川　修　夫（出雲市）	
	黒坊主	小　室　美　羽（松江市）	
	肉塊	鷲　野　紘　之（安来市）	
	横たわるからだ	池　尻　　都（松江市）	
	小伊津漁港	佐　藤　　健（松江市）	
	秋・落ち葉	三　桐　綾　子（海士町）	

	題　　名	氏　　名	備　　考
	紅葉狩り（並木道）	周　藤　春　樹（出雲市）	
	露草	勝　原　美智子（雲南市）	
	薄明	山　本　妙　香（松江市）	
	紅葉の山道	大　石　みさを（松江市）	
	日曜日の朝に	周　藤　紀　恵（安来市）	
	老松	白　根　功　雄（松江市）	
	平田船川夕景	金　森　　登（出雲市）	
	白昼夢	妹　尾　美　来（松江市）	
	醜活	佐　藤　麻　帆（松江市）	
	宍道湖の朝	田　辺　明　光（松江市）	
	心凪ぐ	竹　内　野乃果（松江市）	
	花	非　々　玲　子（川本町）	
㊟	春を見つけて	萬　田　みち子（浜田市）	
	存在－ぼくのかたち－	溝　部　光　一（松江市）	
	Dance	吉　岡　さつき（安来市）	
㊟	KINGの肖像	角　島　貴　子（浜田市）	
㊟	芋掘り	澄　川　　貢（益田市）	
㊟	めぐまれた日々	天　野　勝　則（江津市）	
㊟	月明り	桃　木　榮　子（浜田市）	
㊟	給油船	池　野　達　志（浜田市）	
㊟	わたしは何になるんだろう	横　田　結　子（益田市）	
	夕映え	貝　谷　久美子（美郷町）	
	SL、紙ふうせん、蛇	永　原　陽　子（松江市）	
	薄日の食卓	八　澤　詩　子（松江市）	
	劉	園　田　里　恵（松江市）	
	カラーフラワー	安　田　千津子（福岡県）	
	縁の下に住む子猫達	山　根　早　苗（雲南市）	
㊟	静寂の中で	宮　津　一　生（江津市）	
	どこへ行く	横　山　恵　子（松江市）	
	鳥	佐　藤　茂　雄（松江市）	
	清濁	桑　原　扶結香	
	二つの旗（Japan is America）	宮　岡　俊　夫	
	こもれび	大久保　　実（雲南市）	
	茶の明々庵	門　脇　　豊（松江市）	
	少年の日	楫　　康　治（松江市）	
	シュロの木のある家	荒　木　志　穂（松江市）	
	想う	舟　木　孝　義（松江市）	
	夜のとばり	平　井　伸　一（松江市）	
	無理芸	植　島　郁　己	
	夕日の旅人	長谷川　璃　子	
	故郷の山河Ⅰ	高　見　秋　彦（松江市）	
	ハスの華と童女Ⅰ	白　根　　健（安来市）	
	田村	山　﨑　かおる（隠岐の島町）	

題　　名	氏　　名	備　　考
生活	小豆澤　佑　香（松江市）	

招　待

題　　名	氏　　名	備　　考
ひととき	北　本　雅　己（出雲市）	
㊟ 立渦	春　日　裕　次（出雲市）	
刻	金　築　秀　俊（出雲市）	
㊟ 蜘蛛男	川　上　浩　平（出雲市）	
現場の朝	福　田　佳　史（出雲市）	
㊟ 夏の日	片　岡　春　江（浜田市）	
セレナーデ	井　上　富美子（出雲市）	
悠久の歩	岩　田　　悟（出雲市）	
ゆれる	園　山　裕　子（出雲市）	
㊟ ネギ坊主	大　道　愛由美（浜田市）	
CLOWN	有　田　千賀子（大田市）	
㊟ STREET PIANO	河　上　晴　夫（浜田市）	
故燈	谷　口　麻衣子（大田市）	
あいしてる	江　角　奈　美（出雲市）	
精霊船	梶　谷　修　弘（出雲市）	
何処へ	勝　田　敏　夫（松江市）	
幻想の森	神　門　芳　子（松江市）	
港	杵　築　　伸（出雲市）	
巡る刻	木　下　幸　子（松江市）	
伯耆大山	藏　敷　真　弓（出雲市）	
追想	近　藤　　隆（安来市）	
石見神楽（大江山）	佐　藤　收　男（出雲市）	
DAHLIA	島　田　　史（松江市）	
㊟ 習作	渋　谷　慎　治（益田市）	
㊟ 鳥海山	水　津　保　美（津和野町）	
㊟ Human	田　中　敬　二（大田市）	
㊟ 秋の訪れ	寺　井　壽　一（益田市）	
心の琴線	豊　島　美智恵（松江市）	
森の詩	樋　野　　梢（松江市）	
自然観察	二　岡　みえこ（安来市）	
㊟ 杜の聲を聴け	持　田　隆　志（出雲市）	
忘却の花	森　山　　恭（出雲市）	
風のかたち 26-2	山　岡　晴　夫（出雲市）	
悩む	神　庭　　明（安来市）	
ワタシトワタシタチ	杉　谷　俊　一（松江市）	
Oh my darling, Clementine	池　田　　稔（安来市）	
㊟ 丘の上	篠　田　　巧（益田市）	
I－SE－MI－YA	仲　佐　和　子（松江市）	

工芸

応募点数	46点	招待作品	18点
入賞点数	7点	展示点数	56点
入選点数	31点	㊊は移動展出品作品	

（総　評）

本年の工芸部門には、陶芸、漆芸、木工芸、七宝、人形、ちぎり絵など、高校生からベテランまで幅広い年代の一般応募作品46点が出品されました。厳正な審査の結果、優秀作品７点、入選作品31点が選ばれました。応募点数は昨年に比べてわずかに増加しましたが、初出品者が増えたことは、来年以降への期待につながる明るい兆しといえるでしょう。

一点一点拝見すると、個性豊かで、地域文化に影響を受けた作品も多く、作者それぞれの制作へのこだわりと熱意が伝わってきました。一方で、出品点数は増えたものの、全体的に小ぶりな作品が多く、やや物足りなさを感じたことも率直な印象です。

印象に残った作品を挙げると、最も出品点数の多い陶芸では、初出品者の活躍が目立ち、工芸連盟賞や新人賞にも選ばれています。受賞には至らなかったものの、優れた茶碗やデザイン性に富んだ皿、思わず使ってみたくなるカップや酒器など、魅力的な作品も見られました。また、毎年楽しみにしているのは、ご夫婦で作陶を続けておられるお二人で、本展では、ご主人が工芸連盟賞を受賞されました。これからもお二人励まし合い、互いに切磋琢磨しながら制作を続けていかれることを願っています。人形では久しぶりに高校生の出品があり、次代を担う若い世代の参加を大変うれしく思いました。このほか、ガラスや神楽面、ちぎり絵なども展示に彩りを添えていました。

受賞作品は、七宝１点、漆芸１点、陶芸２点、刺繍１点、木工芸１点、人形１点の７点。いずれも秀作、意欲作が選ばれました。毎年意欲的な作品を発表されている七宝の加田さんが、本年は知事賞に輝きました。漆芸の黒目さんは惜しくも２年連続の知事賞には届かなかったものの、独創的で完成度も高く、とても好感の持てる作品でした。銀賞を受賞された尾野さん、西田さんの陶芸作品も、それぞれ確かな存在感を放っていました。さらに、初出品ながら銅賞を受賞された、刺し子の馬庭さんも今後の活躍が楽しみです。受賞された皆様には、今回の成果を励みに、これからも地道に、そして謙虚に制作を重ねていただきたいと思います。

来年の県展は、いよいよ第60回という大きな節目を迎えます。島根県の工芸文化のさらなる発展と県展の充実に向け、より多くの方々が積極的に出品され、研鑽を重ねていかれることを期待します。また、審査員・招待作家の皆様には、今後も県工芸界を牽引する存在としてご活躍いただきたいと思います。あわせて、県展の運営にご尽力されている県工芸連盟の皆様に、心から敬意を表します。

第60回という記念すべき県展が、島根県の工芸の新たな可能性を切り拓く機会となることを願うとともに、今後のさらなる発展に大いに期待しています。

（文責　藤井　茂樹／新見美術館館長）

知事賞　㊐　有線七宝合子「菊の花」　加田香子（出雲市）

「有線七宝」は、中国の七宝の流れをくむ代表的な技法で、帯状の金属線で仕切りをつくり、その中にガラス質の釉薬を施して焼成します。焼成と研磨を幾度も繰り返すことで、表面を平らに整え、深みのある光沢に仕上げます。

作者は、身近な店先に並ぶ多彩な菊の花々に魅了され、幾重にも重なる花びらを一枚一枚丁寧に植線し、繊細なグラデーションで表現しました。白い菊を中心に、淡黄色や淡いピンクの菊を配することで、主役の花の美しさをいっそう引き立てています。愛らしい器形に、秋の風情が感じられる作品です。

４年連続の受賞を経て、今回は初の知事賞に輝きました。根気強く丁寧に制作を重ねてきた努力の賜物といえるでしょう。今回の受賞を励みに、さらなる高みを目指した今後の活躍を期待します。

（文責　藤井　茂樹／新見美術館館長）

金　賞　㊐　八重波銀平文螺鈿飾箱　黒目孟志（出雲市）

昨年「知事賞」を受賞された作者の、平文、螺鈿、蒔絵等の技法を駆使した作品です。

側面の平文（細長く切った銀の帯）が、少し剥がれているのと、内部の「和紙張り」と思われる部分が若干、荒いのが、少し気になりました。

しかし、全体的には、完成度が高く、デザイン性にも秀れており、あえて「和紙張り」の地を見せる「小技」も面白いです。

次回は、再び「知事賞」を目指していただきたいと思います。

（文責　石村　　稔）

銀　賞　㊐　呉須釉ピッチャー　尾野友彦（松江市）

ピッチャーとして制作されていますが、花器やインテリアとしても楽しめる作品です。素焼きの器に透明釉を施し、その上から呉須釉を刷毛で塗り、本焼成することで、あえて筆跡や色むらを残した味わい深い仕上がりとなっています。簡素な中にも重厚感があり、実用性と芸術性を兼ね備えています。呉須釉特有の深みのある青色も魅力の一つです。地元の陶土や素材にこだわり、使いやすさと暮らしへの寄り添いを大切にする作者の姿勢がうかがえます。

作者は､145年以上の歴史を誇る「袖師窯」の五代目。三代目の時代には柳宗悦、河井寛次郎、バーナード・リーチらの指導を受けた、民藝の伝統を受け継ぐ窯として知られています。

（文責　藤井　茂樹／新見美術館館長）

銀　賞　㊐

飛鉋青瓷壷（とびかんなせいじつぼ）

西田弘志（にしだひろし）（安来市）

飛び鉋（かんな）を全体に施し　柔らかさのある　落ち着いた花器に　構成されています。飛び鉋は全国の窯　特に民窯で多く用いられている技法の一種です。生渇きの本体に　鉋（削る時に使用する器具）を　ロクロで回転させながら　弾かせると様々な模様が浮き上がって来ます。鉋の角度や　柔らかさによって　色々と変化をしていきます。

それに　青磁風な釉薬をかけて　上品に仕上げた秀作です。

次回も　さらに高みを目指して頑張っていただきたいと思います。

（文責　犬山　卓也）

銅　賞　㊐

欅造拭漆長皿（けやきづくりふきうるしながざら）

奥村和久（おくむらかずひさ）（松江市）

欅の木を使い製作された刳物（くりもの）の作品です。

刳物とは、ノミやカンナを使い形を作り出す木工技術です。全体的にバランスも良く、特に木地の仕上がりや、高台の位置、ふちの幅も良く、まとまりのある作品に仕上がっていると思います。手にとった時の程よい重量感や、持ちやすさも感じられます。

ただ、ふちに施した木象嵌（もくぞうがん）や最後の仕上げの拭き漆をもう少し工夫されると更に良くなると思います。

今後の作品を楽しみにしています。

（文責　濱田　幸介）

銅　賞　㊐

刺し子「紅く在る」（さしこ「あかく在る」）

馬庭真由美（まにわまゆみ）（出雲市）

刺し子の伝統的な、麻の葉や昆沙門亀甲の模様を、作者がアレンジしてデザインした作品です。刺し子の歴史は､16世紀に東北地方で貴重な布に厚みを持たせて補強し、保温効果を高める目的と、衣類等を美しく修繕するために生まれたものです。布に並縫いの糸の運針を基本にして模様を描きます。

作品の両端には、細かな麻の葉模様を規則正しく、緻密に刺し、画面中央には、麻の葉や昆沙門柄をリズムを持たせて配しています。

全体にすっきりと、気持ちの行き届いた美しさを感じられる秀作です。

（文責　松浦　弘美）

銅　賞　㊐　紙塑和紙貼「国引き」　上野幸美（出雲市）

出雲ならではの「国引き神話」を題材とした作品です。大国主命の祖先とされる八束水臣津野命が、三つ撚りの太い綱を「国来、国来」と唱えながら、力いっぱい他国を引き寄せ、出雲国をつくろうとする姿が表現されています。気品ある佇まいの中にも、命の表情や綱を引く姿から躍動感が伝わってきます。和紙ならではの柔らかな質感と温かみが作品の魅力となっています。表情や動きにさらにひと工夫を凝らすことで、神話の情景がより一層生き生きと表現されることでしょう。

５年連続の受賞は、たゆまぬ制作への取り組みの成果といえるでしょう。これまでの研鑽を礎に、さらなる表現の深化と高みを目指していただきたいと思います。

（文責　藤井　茂樹／新見美術館館長）

入　選

	題　名	氏　名	備　考
	七宝「藤の咲く頃」	吉山郁代（隠岐の島町）	
㊐	「髪掛の松、醜女と化した明日姫」	実築（みつき）（江津市）	
	ちぎり絵「コットンフラワー」	小田川佳子（松江市）	
	掛分大皿	板倉清之（出雲市）	
	黒泥玉すだれ文曲美壷	冨金原久繁（松江市）	
	陶「ふどうくん」	有富克朋（松江市）	
	ちぎり絵「秋の彩り」	山本礼子（松江市）	
㊐	陶「蒼雲」	橋本由佳（安来市）	島根工芸連盟 新人賞
㊐	備前香炉	江戸端実（大田市）	
㊐	禅壺	江戸端実（大田市）	
	鉄釉窯変茶碗	郡司位秀（松江市）	
	ちぎり絵「思い出の風景（大山）」	米田房子（松江市）	
	ちぎり絵「秋」	米田房子（松江市）	
	ちぎり絵「薔薇とかすみ草」	森山許代（松江市）	
㊐	ちぎり絵「フラワーボール」	森山許代（松江市）	島根工芸連盟賞
	新三彩睡蓮模様長方皿	西村仁伸（松江市）	
	「道標」	宇京生眞（出雲市）	
	夏目漱石作七言律詩	髙橋成和（松江市）	
㊐	漆黒釉　水指	古川幸希（出雲市）	島根工芸連盟賞
㊐	来待釉掛黒鉢	荒尾則和（大田市）	島根工芸連盟賞
	八雲立つ/雷（かみなり）	内部隆（松江市）	
	ちぎり絵「うたたね」	尾野久子（松江市）	
㊐	フリーカップ	山﨑三仁（大田市）	

	題　　名	氏　　名	備　　考
㊟	酒器	山　﨑　三　仁（大田市）	
㊟	荷葉水滴	福　間　達　也（出雲市）	
	織部手鉢	藤　井　淑　美（松江市）	
	茶盌　銘「茜雲」	藤　井　弘　一（松江市）	
㊟	茶盌　銘「夕暉」	藤　井　弘　一（松江市）	島根工芸連盟賞
	象嵌筋文壺	山　田　正　彦（松江市）	
	壺	中　尾　和　美（出雲市）	
㊟	鉄砂割り高台３つおり平鉢	嘉　戸　秀　樹（江津市）	

招　待

	題　　名	氏　　名	備　　考
	出雲焼茶碗	長岡住右衛門空郷（松江市）	審査員
㊟	沈泥彩陶筥	犬　山　卓　也（出雲市）	審査員
	桑縁神代杉桐象嵌風炉先	正　木　　潤（出雲市）	審査員
	広瀬絣着物―弥生―	永　田　佳　子（安来市）	
㊟	硯　「華車」	福　郷　　徹（益田市）	
㊟	麻地型絵染　染布	黒　川　裕　子（江津市）	
	布張盆皿「UKIYOE IMAGE」	石　村　　稔（松江市）	審査員
	紙塑和紙貼「光明」	吾　郷　江美子（出雲市）	
㊟	ほら絽織菱絽生絹着物「酔芙蓉」	松　浦　弘　美（松江市）	審査員
㊟	神代欅造拭漆盛器	濱　田　幸　介（松江市）	審査員
㊟	灰釉線文壺	荒　尾　浩　之（大田市）	審査員
㊟	刷け目　大鉢	螺　山　勝　實（浜田市）	
㊟	松造拭漆盛器	村　山　創　達（松江市）	
㊟	木綿手紡絵絣着物「華灯り」	木　下　恵理香（出雲市）	
㊟	杉桐象嵌飾箱	深　田　　学（雲南市）	
㊟	紙塑和紙貼「豊作祈願」	松　本　輪加子（松江市）	
	縹繧幾何文花入	内　田　和　秀（松江市）	審査員
㊟	羽衣の木の箱	渡　部　良　和（雲南市）	審査員

写真

応募点数	104点	招待作品	45点
入賞点数	7点	展示点数	147点
入選点数	95点	㊊は移動展出品作品	

（総　評）　本年は昨年を上回るご応募に恵まれ、活気あふれる素晴らしい審査となりました。祭事や豊かな自然、人物、動物に至るまで、多岐にわたる秀作が顔を揃えました。写真に優劣はなく、被写体へ向ける撮影者の真摯な眼差しとあふれる情熱こそが、見る者の心を深く魅了します。光の捉え方や構図といった一般的な審査の視点も重要ですが、独自の物語や感情が息づく作品こそがひときわ強い輝きを放ちます。

今回寄せられた作品は技術も高く、時間の流れや背景を豊かに紡ぐ名作揃いでした。東京から訪れた私にとって、山陰の空に浮かぶドラマチックな雲や原風景の数々は、それだけで心揺さぶられる贅沢な芸術です。地元の皆様にとって見慣れた日常にも、島根県にしかない、かけがえのない特別な美しさと感動がひっそりと宿っています。当たり前の景色を新たな視点で見つめ直すことこそ、写真表現の大きな醍醐味です。ぜひ次回は、愛する日常の風景も誇りと瑞々しい感性でもっともっと切り取ってみてください。皆様の温かな視点が捉える次なる傑作を、心より楽しみにしております。

（文責　安　　珠）

知事賞　㊊　瞳に宿る夢

大平由美子（浜田市）

鷺祭りの小鷺を捉えた大胆なクローズアップでありながら、ピンクが覗く頭部の傘や背の羽まで、祭りの情報を的確に収めた秀逸な構図です。逆光の柔らかな光に包まれた少女は澄んだ瞳に白い光を宿し、白装束に結ばれた赤い紐やピンクの彩りが、その透明感のある肌質と愛らしい初々しさを際立たせています。遥か昔から連綿と続く、神聖な祭りの誇りと、島根の未来を担う少女の瑞々しい生命力が美しく交差する、県知事賞に相応しい深い感動と、堂々たる存在感を放つ見事な名作と言えます。

（文責　安　　珠）

金　賞　㊊　伝統祭事

牛尾吉郎（奥出雲町）

長い伝統のある祭りですが、近年は以前と違って参加人数も減り、人が少なくなりながらも伝統を繋ぎ守りながら実施されており、そのことが感動として伝わってきます。あえてブレを出せば感動と迫力がさらに際立つと思います。

地域ならではの伝統行事をもっと撮影していただき、多くの人たちにその素晴らしさが伝わってほしいと感じました。

金賞おめでとうございます。

（文責　川本　貢功）

銀賞 ㊐ 水彩（すいさい） 松本康志（まつもとやすし）（津和野町）

まるでモネの絵画を思わせる幻想的で美しい一枚です。水面に広がる水草の豊かな表情、池に映り込んだ空や雲の繊細な美しさ、細部にまで丁寧に描き出された自然の姿が、見るほどに新たな発見を与えてくれます。

絵画のような印象でありながら、写真だからこそ捉えることができる光や色彩、質感、そして一瞬の美しさがあります。その繊細な表現に心が引き込まれ、いつまでも眺めていたくなる作品です。長い時間を共有できる素晴らしい秀作です。

（文責　三加茂幸子）

銀賞 ㊐ ひととき 遠藤勉（えんどうつとむ）（安来市）

銀賞の受賞、誠におめでとうございます。

難易度の高い縦構図を選び、奥行きがしっかり表現された素晴らしい作品だと感じました。手前にゆったりと横になるネコを入れ、そこから奥に伸びる石段、かやぶき屋根のしつらえ、差し込む温かな日差しのライン、人物の様子も相まって本当にのんびりとした「ひととき」が感じられる素敵な作品です。

構図や光のとらえ方など、作品づくりへの工夫と努力が感じられます。改めて、入賞おめでとうございます。

（文責　大坂　武）

銅賞 ㊐ 風を忘れた水辺（かぜをわすれたみずべ） 長﨑嘉暢（ながさきよしのぶ）（出雲市）

カラーならではの写真で、山陰の澄みきった青空が、緩やかに波打っている湖面に映り込み、印象深い色合いになっています。

縦構図にしたことによって、前景、中景、遠景と奥行きが出て、また空の雄大さが感じられます。

静けさの中にも、しじみ舟が横向きではなく、縦向きに配置されていることによって、勢いのある、そして力強い画面になっています。

入賞おめでとうございます。

（文責　松谷　敏秀）

銅賞 ㊐ 松江マラソン（まつえマラソン） 下川隆直（しもかわたかなお）（松江市）

写真部門銅賞おめでとうございます。

松江マラソンのスタートをスローシャッターで撮り、見ている人を惹きつける素晴らしい作品です。ランナーが波のように表現され、多くのランナーのウェアは色とりどりで美しさも表現されています。少し天気が悪いのか、全体的に暗い雰囲気ではあ

りますが、逆に走る人の勢いと緊張感が伝わります。

縦写真で多くの人を撮られている構図もよく、たいへん感心させられます。ぜひ次回天気の良い日があれば、同じような場所で撮られ、違った表現の作品も期待しています。

（文責　仲佐　勝己）

銅　賞　㊟　仲間（なかま）　奥村（おくむら）　茂（しげる）（隠岐の島町）

秋の水田でしょうか。牧草ロールの白いビニールの前に鶴がたたずんでいます。

自然の中にある人工的なものと鳥たちが共存している様子に、微笑ましさを感じます。向かい合う二羽の鶴は、何かお話でもしているのでしょうか。この構図の中で赤い目の色が作品のアクセントとなっており、足元には仲間も集まってきています。何気ない田舎の自然の風景を作者ならではの視点で切り取った秀作です。

（文責　田村　唯男）

入　選

入選95作品のうち写真部門実行委員会賞として以下全33点を選定した。
・優秀賞（３点）
・奨励賞（10点）
・特　選（20点）
（受賞作品は備考欄に掲載しています。その他の入選作品は氏名の五十音順で掲載しています。）

	題　名	氏　名	備　考
㊟	望郷（ふるさとはやっぱりいいね）	本木儀和（松江市）	優秀賞
㊟	光と影	岸　光夫（出雲市）	優秀賞
㊟	暮らしの気配	杉浦裕正（浜田市）	優秀賞
㊟	秋冷	松田　桂（大田市）	奨励賞
㊟	射手	大森　学（益田市）	奨励賞
㊟	疾駆の一矢	松本幸也（松江市）	奨励賞
㊟	森を立つ	竹下敏広（出雲市）	奨励賞
㊟	黄金の園	近藤末美（安来市）	奨励賞
㊟	白い牙	藤原あや子（松江市）	奨励賞
㊟	初冬	松岡治恵（松江市）	奨励賞
㊟	ひそひそ話	品川辰朗（飯南町）	奨励賞
㊟	夏日	坂本新次（出雲市）	奨励賞
㊟	MENPEKI	石田龍嗣（浜田市）	奨励賞
	雨旅	大塚由美子（松江市）	特選
	闘牛	高梨文博（隠岐の島町）	特選
	力演	木村恭子（出雲市）	特選
	瞳	竹下　朗（出雲市）	特選

	題　　名	氏　　名	備　　考
	技で架ける大縄	加　藤　正　人（松江市）	特選
	旅立ちの朝	福　島　美　之	特選
	命は美しい	石　倉　太　介（出雲市）	特選
㊟	霧雨	佐々木　　誠（江津市）	特選
	黄葉	江　角　好　敏（出雲市）	特選
	田植祭り	藤　原　美枝子（奥出雲町）	特選
	しじみ漁	田　坂　　将（出雲市）	特選
	トワイライト	磯　田　泰　弘（出雲市）	特選
	秋色	内　藤　章　江（松江市）	特選
㊟	競演	森　山　典　雄（大田市）	特選
	朝の光景	武　田　　清（雲南市）	特選
㊟	雄叫び	森　本　美恵子（大田市）	特選
	神楽舞	牧　原　　正（飯南町）	特選
	夕景	田　村　啓　子（松江市）	特選
	刻	原　　憲　治（出雲市）	特選
	時の渦	後　藤　孝　司（出雲市）	特選
	冬の朝	安　部　裕　史（松江市）	
	いっちゃんの春	石　井　洋　子（飯南町）	
	おもいでが眠る場所	石　川　　功（鳥取県）	
	驟雨	磯　田　律　子（松江市）	
	茜色の時間	伊　藤　剛　寛（松江市）	
	朝日を浴びて	糸　原　詩　郎（奥出雲町）	
	錦秋の舞	糸　原　輝　幸（奥出雲町）	
	米子のまち　ぶらり	稲　田　　崇（安来市）	
㊟	疾風のごとく	岩　田　　毅（大田市）	
	田植日和	内　田　定　廣（奥出雲町）	
	階段を下る、、、紅葉+大仏殿を味わいながら	押　柄　隆　夫（出雲市）	
	夏休み明けの朝	尾　原　慶　乙（出雲市）	
㊟	やわらかな・・・	梶　　明　広（浜田市）	
	いただきまーす	勝　部　美智夫（出雲市）	
㊟	アングラ文化1986	川　上　譲　治（浜田市）	
	原始の残像	北　脇　　学（出雲市）	
	龍王の舞	木　下　時　雄（隠岐の島町）	
	ずっと一緒これからも一緒僕からのプレゼントは笑顔	久　屋　真　美（出雲市）	
	冬支度	小　谷　千代子（松江市）	
	水鏡	坂　本　憲　三（松江市）	
㊟	響鳴	佐々木　美　穂（浜田市）	
	秋の花の蜜あつめ	杉　原　岳　暁（出雲市）	
	余韻との語らい	須　田　祐　司（出雲市）	
㊟	天真	橘　　重　孝（大田市）	
	ハヤブサの空中給餌	田　中　　修（隠岐の島町）	
	寒日	田　中　純　子（松江市）	
	視線	張　　玲　姫（京都府）	

	題　　名	氏　　名	備　　考
	森の骨	角　森　俊　一（出雲市）	
	光の記憶	寺　本　俊　行（松江市）	
	冬の訪れ	徳　島　義　孝（雲南市）	
	揺らぐ	戸　田　憲　文（飯南町）	
	念仏踊り	長　岡　修　身（出雲市）	
	いざ出陣	柳　樂　昌　宏（松江市）	
	ある街角にて	西　上　一　義（松江市）	
	湧き熾る紅壁	西　上　耕一郎（松江市）	
	たのしいね	錦　織　政　人（出雲市）	
	彩違い	錦　織　美　咲（松江市）	
	かける	新　田　直　美	
㊊	寂	萩　原　陽　子（浜田市）	
	一夜城	林　　悟（出雲市）	
	大樹信仰	原　田　達　朗（出雲市）	
	陽春	原　　浩（安来市）	
	出雲路に響く．三つの願い	万　代　丸　美（出雲市）	
	花だより	半　田　恵美子（隠岐の島町）	
㊊	捧げる	樋　野　淳　巳（浜田市）	
	一瞬の花火と無限を見つめる目	福　田　孝　二（鳥取県）	
	笑顔結う	藤　江　真知子（出雲市）	
㊊	東三条ヶ森	藤　田　好太郎（浜田市）	
㊊	豊秋	藤　田　昭　平（江津市）	
	祈りを映す水	藤　原　　馨（松江市）	
	夕凪	星　野　　裕（出雲市）	
	おいで鯉さん	堀　江　利　加（出雲市）	
	晩秋	松　﨑　敏　江（奥出雲町）	
㊊	親子	三　宅　　亮（益田市）	
	ささなみや	森　脇　孝　公（松江市）	
	演舞の後	安　田　　勲（飯南町）	
	ある街角で	安　田　朝　行（松江市）	
	先に泣いたら勝ち	吉　井　睦　雄（松江市）	
㊊	凛として	吉　田　　勝（大田市）	
	そろそろ帰ろうか	米　田　直　之（安来市）	
	小伊津　2026.2.8	和　田　　慎（松江市）	
	ハゼの実	渡　辺　敏　雄（松江市）	

招　待

題　　名	氏　　名	備　　考
出番	青　戸　　繁（松江市）	
暁の神事	大　坂　　武（松江市）	
隠岐の馬	川　本　貢　功（松江市）	
バカンス	菅　野　　紘（松江市）	

	題　　名	氏　　名	備　　考
	春閑	木　村　克　己（出雲市）	
	こいする	黒　川　政　治（松江市）	
	祭司	黒　川　恵美子（松江市）	
	祭日	波　積　　薫（松江市）	
	光景	松　浦　潤　一（松江市）	
	かくれんぼ	仲　佐　勝　己（安来市）	
	飾り羽	春　日　通　男（出雲市）	
	漕艇	金　築　　哲（出雲市）	
	晩秋	常　松　利　理（出雲市）	
	恋女房	細　田　恵　子（出雲市）	
㊟	少年	入　江　啓　介（大田市）	
㊟	コンタクト	根　宜　康　広（大田市）	
㊟	朝の一刻（ネパールにて）	小　林　茂　雄（江津市）	
㊟	暮色	井　上　健　治（浜田市）	
㊟	静寂	尾　﨑　　剛（浜田市）	
㊟	獅子舞	尾　﨑　美　智（浜田市）	
㊟	テラス席	寺　澤　富美恵（益田市）	
㊟	夕照の山陰海岸	吉　﨑　桂　慶（益田市）	
㊟	水面の狩人	三　浦　秋　男（益田市）	
	流れに託して	若　槻　明　郎（松江市）	
㊟	小さな舞姫たち	三加茂　幸　子（出雲市）	
	SAKURA	大　下　浩　昭（松江市）	
	爆音とともに	川　上　泰　正（出雲市）	
	ブッポウソウ	井　上　　豪（松江市）	
	宵闇	森　脇　寿　一（松江市）	
	インドの神聖な祈り	酒　井　重　礼（松江市）	
㊟	小鷺踊り	江　川　安　夫（浜田市）	
	春を待つ雪	田　中　利　博（奥出雲町）	
㊟	奏でる	品　川　　功（大田市）	
	棚田の春	田　村　唯　男（松江市）	
	凝視	岡　　一　夫（松江市）	
	沼田に悪戦苦闘	石　飛　桂　子（出雲市）	
	太陽の冠	前　田　　健（隠岐の島町）	
㊟	ニアミス	松　谷　敏　秀（浜田市）	
	川面の息吹	渡　辺　正　史（松江市）	
	静かな秋の日	太　田　淳　子（松江市）	
㊟	勢	西　尾　　透（出雲市）	
㊟	清流の中を	盆子原　政　司（江津市）	
㊟	子育て奮闘中	岩　谷　順　子（松江市）	
	月光の大山東壁	大　谷　剛史郎（飯南町）	
	斜陽光の射す朽縄	金　崎　　操（出雲市）	

デザイン

応募点数	50点	招待作品	20点
入賞点数	7点	展示点数	70点
入選点数	43点	㊩は移動展出品作品	

（総　評）　今回の審査では、島根をテーマにした作品も多く見られ、地域への関心や愛着が感じられました。特に印象に残ったのは、消しゴムはんこや墨の滲み・カスレなど、アナログな技法を組み合わせた作品です。デジタルだけでは表現しきれない味わいや、作者の個性が表れた表現に魅力を感じました。

ポスター部門では、「伝える」というポスターの機能を重視し、情報の伝わりやすさや視覚的な訴求力を評価しました。一方、イラスト・造形部門では、「新しい表現への挑戦」や「自分の好きなこと」を、自分なりの発想で具現化している点を大切に審査しました。

また、言葉では説明しきれない「良い感じ」も、人の記憶に残る大切な要素だと思います。そうした言語化できない魅力を持つ作品は、思わず目を引きつける力があります。

幅広い年齢層から応募があり、表現方法も多彩で、審査を通してさまざまな発想や創作の楽しさに触れることができました。今回、応募数が増えたと聞き、大変うれしく思います。デザインや創作活動に関わる人が増えることは、地域の文化や表現の広がりにもつながります。これからも、一人ひとりの自由な発想から、島根県ならではの魅力ある作品が数多く生まれていくことを期待しています。

（文責　野村　勝久／グラフィックデザイナー、九州大学准教授）

知事賞　㊩　巡る奥出雲（めぐるおくいずも）

田中（たなか）　さ　ら（奥出雲町）

副題に作者の意図が込められており、奥出雲の魅力を僅か三文字の中に象徴的に表現している。

下地の色は和紙をイメージしているのか、白ではなくアイボリーにすることで、文字が墨で書かれたかのようなイメージをより一層引き立てている。

画面中央にある唯一の有彩色の赤が、差し色の効果を生み、画面を引き締め、単調さを防いでいる。

「奥」の字の鍬を持つ人をイメージした下部のアイコンに多少の違和感を感じるものの、全体的に元の字を連想することが可能であり、上手く表現されている。

（文責　内田　京子）

金賞 ㊐ 消しゴムはんこによるタイリング表現Ⅳ ～bubbles～

福島賢二（江津市）

水玉を思わせる様な沢山の楕円の白い玉が、ちりばめられている画面に浮き沈みする様子が楽しい。そして、深い青と緑青の効果もあって、奥ゆきのある表現が素晴らしい。

この手法で大きな画面にも挑戦して欲しい。

（文責　石野　　眞）

銀賞 ㊐ 鱸落

角原咲樹（安来市）

鱸落というタイトルには少々なやみました。落鱸とは産卵を迎えるスズキの事を言います。

しかし、タイトルは逆。よく見ると口から黒い卵を吐いている様にも見えます。一種独特の現代の状況への警告を感じる表現に感心しました。右側に表記されている神々の名前とその表現方法が社会への警告や怒りを表わしていると思わせ、神々の国出雲にマッチしたすばらしい作品です。

（文責　梶　　明広）

銀賞 ㊐ 浮くさかな

福本湖花（奥出雲町）

下から当てられた光に浮かびあがる顔。人物の目と魚の目が重なるように描かれ、いったい何を見つめているのだろうか？緑色に浮かぶ顔は、何か思い悩んでいるのだろうか？それとも、魚たちを恍惚と見つめているのだろうか？と、見る側に疑問を投げかけてくれる。

しっかり描きこまれた顔と、一色でぬりつぶされた尻尾や周囲の暗く落とされた色彩でめりはりをきかせ、視線が人物の顔と一匹の魚に向くようになっている。とても描写力のある作品です。

（文責　奥　美奈子）

銅賞 ㊐ 朝な朝な、おはよう

森脇時土

立体デザインの出品があるのは、島根のデザインの特徴です。他県のデザイン部門ではグラフィック作品のみのところがあります。この作品はデザインの多様性を我々に示しています。

平面的な折り紙のチューリップが何か象徴的です。

（文責　春日　謙一）

銅賞 ㊐ 有為転変（ういてんぺん） ねころび（松江市）

画面全体を独自の世界観でまとめている。

看板の文字は、しっかりと書かれている。

レトロ調ではないけれど最近の流行を取り入れたシーン。夢の中に出てくる記憶を思い浮かべる。陰影の着色がとても良い。

祭りが終わりかけて、次の時間に移って行く場面を巧みに描き込んであってすばらしい。

（文責　平江　　透）

銅賞 ㊐ 穏（おだやか） 長岡美空（ながおかみく）（出雲市）

細ペンのハッチングのみで丁寧に描かれた作品。

明暗など黒からグレーへの描き分けも自然で上手い。特に人物の質感の表現は、緻密に描き込まれており、かなり密度が高い。出品作品の中で作者の技術力の高さは圧倒的だった。

今回は「穏」を表現した作品だった。今後の作品も楽しみだ。

（文責　秋國　紋子）

入選

題名	氏名	備考
わたしの神話	岩崎春日（安来市）	
見落とす	錦織美咲（松江市）	ポスター部門奨励賞
玉造温泉でひと休み	松浦晴香（松江市）	
SHIMANEIL	並河茉夏（奥出雲町）	
溶け込むために	梶谷大樹（大田市）	
奥出雲　四季の重箱	齋藤里帆（奥出雲町）	県外審査員特別賞
苦中作楽	西山栞莉（松江市）	
インターネット	原彩夏（出雲市）	
美術館に行こ！	門脇実優（広島県）	
悲鳴山彦	足立博基（奥出雲町）	
靄	k o n（松江市）	ポスター部門奨励賞
自然が紡ぐ美しい風景	横川幸奈（松江市）	
島の日常	藤原温花（松江市）	

題　　名	氏　　名	備　　考
ガーデン	吉　岡　さつき（安来市）	
ふらここ　ゆらり	松　浦　勇　人（松江市）	
光芒を放つ幻獣	細　木　博　文（松江市）	
うそをつくかもしれないよ	岩　崎　春　日（安来市）	
Who are you?	森　脇　玄　太（松江市）	
OROCHI	千　綿　ひかり	
伴達千仏	日　野　浩　司（大田市）	
獅子舞	改　田　瞳　子（奥出雲町）	
暮らし	さ　　ば（松江市）	
Your sun	市後崎　敬　太	
沖縄タコス	大　西　花　香（松江市）	
Record	山　根　　遙（松江市）	
辰砂色の狐	渡　部　史　也（松江市）	
ASCENSION	大　岩　　仁（出雲市）	
買い出し	s　k　y　l　e（雲南市）	
踊り子の余影　－Rēmanence	Keiko　Yamasaki（愛知県）	県外審査員特別賞
勝手に観光キャラクター　美保関の「メテプー」	立　花　わたる（出雲市）	
ボラとツワブキ	黒　木　真由子（松江市）	
ひみつきち	青　木　咲　樹	イラスト・造形部門奨励賞
わたしの　なまえ	林　　舞倫子（松江市）	
2611	楫　　愛　留（奥出雲町）	
思考回路	山　根　裕　子（松江市）	
いま～しぶ	山　根　奈　々（松江市）	
群青	え　　ぬ　　み（松江市）	
Queen in Colors	大　西　七　恵（松江市）	
春、何かいいことありそうな~something good seems to happen~	藤　原　冨貴子（雲南市）	
潜入捜査	西　村　陽　菜（奥出雲町）	イラスト・造形部門奨励賞
逃避の果て、躍進	下　川　乾　北	
右の耳で近くを聞き 左の耳で遠くを聞く	藤　原　久　子（松江市）	
星の人　白	山　折　ゆき乃（松江市）	

招　待

題　　名	氏　　名	備　　考
㊟ エリックサティへのオマージュ	石　野　　眞（松江市）	
㊟ GAHAN2025-03〈過疎の次に〉	寺　尾　　堂（益田市）	
wrapping	近　藤　　隆（安来市）	
円による構成26－2	遠　藤　　毅（雲南市）	
価値ある選択	秋　國　紋　子（出雲市）	
PEACE　～地球は生きている～	内　田　京　子（奥出雲町）	
百歌花暦　秋桜	奥　　美奈子（大田市）	
地面効果翼機MA－０ＸⅥ	春　日　謙　一（松江市）	

	題　　名	氏　　名	備　　考
㊊	灯幻	柳　楽　武　臣（出雲市）	
	The Reversed Specimen	錦　織　秀　行（雲南市）	
	伝心	八　谷　真　人（松江市）	
	HORA　HORROR　雪女	平　江　　透（松江市）	
㊊	QUANTUM	勝　田　優　介（松江市）	
	おのれごころを知る	山　川　房　子（安来市）	
	Time to Think	代高田　由　梨（鳥取県）	
㊊	水の惑星　渇きの海	梶　　明　広（浜田市）	
㊊	Invisible	品　川　良　樹（松江市）	島根デザイン連盟賞
	つぼみから覚醒へ	嘉　本　光　留（出雲市）	
㊊	オカシなウミウシ図鑑	山　﨑　絵　里（松江市）	
	陰陽龍	田　中　千　智（松江市）	

彫刻

応募点数	19点	招待作品	6点
入賞点数	6点	展示点数	25点
入選点数	13点	㊊は移動展出品作品	

（総　評）　今年度の彫刻部門には19点の応募があった。これは昨年の応募点数より５点多いということであったが、小型の作品が多く、彫刻が持っているダイナミズムさを感じさせる作品が少ない会場の雰囲気に若干のもの足りなさを感じた。結果的に最高賞である知事賞に該当する作品を選定するに至らなかったのが残念であった。一方で、小さくても密度の濃い作品や、オーソドックスな表現だが作家の力量を感じさせる作品、破綻はあるが可能性を感じさせる作品など魅力的な作品も多く、次回以降の作品に期待を感じさせる審査であった。

彫刻表現は３次元に展開できる魅力的な表現である一方で、作品作りには場所の確保や特殊な用具の準備、それを扱う技能など制作環境を作ることに高いハードルがある。多くの彫刻展では軒並み作品の小型化や出品者の減少が課題となっている。島根県展も同様の課題を抱えており、今後いかに若手の出品者を増やして行くのかということが課題の一つのようであった。県展の彫刻部門を主管する島根彫刻会では高校生向けの彫刻講座の実施や、高校生の県展出品料の減免など様々な取り組みを行っているとうかがった。今展では高校生出品者も受賞をしており、その成果が少しずつ現れているように思う。島根彫刻会の彫刻に取り組む人材の裾野を広げる努力と取組に敬意を表したい。

（文責　藤田　英樹／国画会彫刻部会員）

金　賞　㊊　HIKARI　尾添（おぞえ）　昇（のぼる）（出雲市）

ジャン・アルプやヘンリー・ムアを彷彿とさせる有機形態を再構築したような抽象作品であり、生命感を感じさせる形と、形同士が織りなすリズムがこの作品の魅力となっている。背面は人物の後ろ姿を想起させるような形態となっていることから人体をモチーフにしていることが想像できる。作品の完成度の高さは出品作品の中で群を抜いており、作家の力量の高さを感じさせる作品である。

（文責　藤田　英樹）

銀　賞　㊐

揃うもの、揃わないもの

浅原勇二朗（松江市）

11頭の豚が犇めくように配置され、１頭だけが他の豚たちと方向を異にして配置されている。「揃うもの、揃わないもの」という題名から集団と個の関係性を表現したテーマ性の高い作品であることがわかる。豚単体の造形は皆同じ形で特に動きもなく、作り物的で無機質な感じの造形である。この無機質さが表現しようとしているテーマ性をさらに強調する要素となっている。

（文責　藤田　英樹）

銀　賞　㊐

邂逅

宇京生眞（出雲市）

エジプト座りをした白い等身大の猫の彫刻である。若干の構造的なくるいはあるものの、ざっくりとした猫の胴体の表現はその佇まいや存在感を見事に表現している。頭部も猫の骨格や表情をしっかり観察し造形されており、丹念に表現に向き合う姿勢が彫刻として現れている初々しさを感じさせる優作といえる。

（文責　藤田　英樹）

銅　賞　㊐

ピエロ

原　増男（出雲市）

サーカスのピエロと犬をモチーフとした作品。特にピエロの表情や仕草に作者の思いが表れており、この作品の背景にある物語を感じさせる。光と影のリズム感は西洋的な雰囲気を醸し出しており、ドガの絵画を髣髴とさせる。県展の彫刻部門では近年で珍しい西洋的な作風が評価された。

（文責　伊藤　眞美）

銅　賞　㊐

テラコッタ首像

下垣　明（出雲市）

テラコッタ土で造形、焼成された女性の首像。立体的な表現に優れており、額、頬、眼球などは量感がある。特に口は特徴的で奥行きを感じさせる表現となっている。女性の表情が印象的で、素材により上手く表現されており、作品の持つ穏やかな雰囲気が評価された。

（文責　伊藤　眞美）

銅　賞　㊐　ねむり漠（ばく）

樋野（ひの）　真利佳（まりか）（松江市）

夢を食べるといわれる架空の生き物漠をモチーフとしたテラコッタ作品。重量感があり、カチッとした緊張感あるフォルムは、漠が夢を食べている様と重なり幻想的な雰囲気を感じさせる。彩雲をイメージしたという優しい色遣いも「夢っぽさ」を上手く表現している。

（文責　伊藤　眞美）

入　選

	題　名	氏　名	備　考
	戦士の休息	松　谷　伸　吉（出雲市）	
	青春の日	大　畑　　敬（松江市）	
㊐	河童の遊戯	郷　田　　勝（江津市）	
	孔雀	田　中　隆　夫（松江市）	
	金剛力士像	田　中　隆　夫（松江市）	
	石見神楽（塵輪と帯中津日子）	日　野　建　一（出雲市）	
	TOGERU	田　中　那　奈（松江市）	
	樹脂と土と目隠しと	安　部　惟　右（松江市）	
	横目	板　垣　百　花（出雲市）	
	表情	鎌　田　　結（出雲市）	
㊐	まなざし	久　家　海　勇（出雲市）	
	温顔	森　　咲　月（飯南町）	
	静寂	中　山　和　実（飯南町）	

招　待

	題　名	氏　名	備　考
㊐	立ち昇る影	藤　田　英　樹（鳥取県）	
㊐	薄暮	伊　藤　眞　美（出雲市）	
㊐	虚ろな関係	田　中　俊　睛（江津市）	
㊐	かなたへ	松　本　健　志（出雲市）	
	ぐるぐる	近　田　裕　喜（安来市）	
㊐	屈光	立　花　　航（出雲市）	